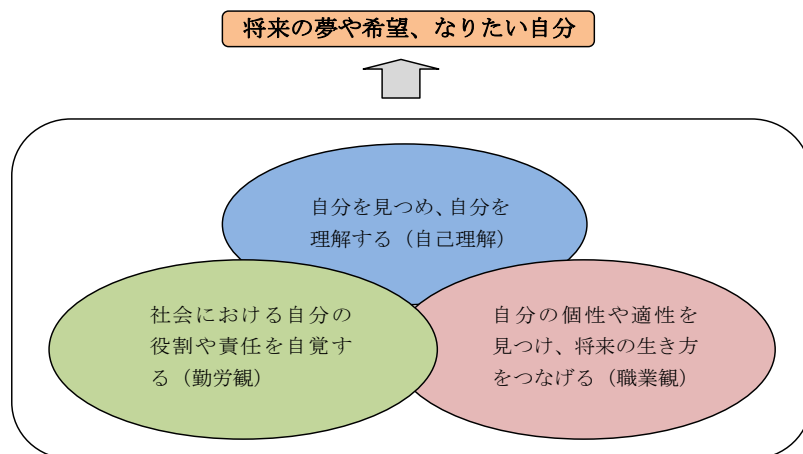


諏訪市における「相手意識に立つものづくり科」を中核にしたキャリア教育

1 キャリア教育のねらい



2 発達段階に応じた体系的なキャリア教育

○幼稚園・保育園 → 自発的・主体的活動を促す

友達との遊び、地域行事への参加

○小学校 → 自分の持ち味を発揮し、役割を自覚する。

当番活動、決められたお手伝い、職業調べ

○中学校 → 社会における役割や将来の生き方を考え、進路選択を行う。

生徒会活動、ボランティア活動、職場体験学習

○高等学校 → 生涯のキャリア形成に必要な能力や態度を育成し、勤労観・職業観を確立する。

課題探求型授業、就業体験、企業実習

やってみたい
なかよくやろう

自分の役割を果たす
どんな仕事があるかな

働くとはどういうこと？
今の生活で大切なことは？

こんな生き方がしたい
こんな仕事がしたい

3 めざす子どもの姿

夢や希望、なりたい自分の夢をもち、粘り強く取り組む子ども

夢を実現するための学力の向上

- ・よくわかる、よくできる授業
- ・自ら学び考える子ども
- ・粘り強く追究する子ども
- ・思いを表現できる子ども
- ・家庭学習習慣の形成

心の豊かな子どもの育成

- ・一人一人に居場所のある学校
- ・挨拶、礼儀等の習得
- ・体験学習の積み重ね
- ・本を読む子ども
- ・地域の人材・資源の活用

4 「相手意識に立つものづくり科」の実践

- ・平成15年度 「地域密着型ものづくり講座」発足
- ・平成17年 経済産業省キャリア教育プログラムモデル事業に応募し採択
- ・平成21年度 「文部科学省教育課程特例校指定」として本格実施

ものづくり科 基本方針

- ① 地域の特性活かす
- ② 豊かな心情を育てる
- ③ 自己の将来を考えさせる

「相手意識に立つものづくり科」の授業

- ① 小中学校全学年で年間25時間行う
- ② 各校のカリキュラムの作成と評価
- ③ サポーターやボランティア導入、外部機関との連携

地域に触れ、人に触れ、参加して学ぶ体験学習

- ① 地域密着型ものづくり講座（小学校5年生、中学校2年生）
- ② 腕時計作り体験実習（全小学校6年生）
- ③ 諏訪圏工業メッセへの出品
- ④ チャレンジショップの開催

成果

- ① 課題解決力の育成 → 「誰に」「どんなものを」「どのように」を明確にして製作するので、具体的なアイデアや工夫が生まれる。
- ② コミュニケーション能力の育成 → 家族、友人、使い手、サポーターとのコミュニケーションが生まれ、言葉遣いや場に適した対応ができるようになる。
- ③ 豊かな心の育成 → 相手意識に立つものづくりを繰り返すことにより、相手への思いやりや細かな配慮ができるようになる。